お風呂リフォームで入浴タイムを快適に。

優れた保温性と防水性、お手入れも簡単な今どきのお風呂にリフォーム。
家族みんなに良いお風呂ってどんなのか、一緒に考えてみませんか。

子どもと一緒にお風呂タイムを楽しみたい!

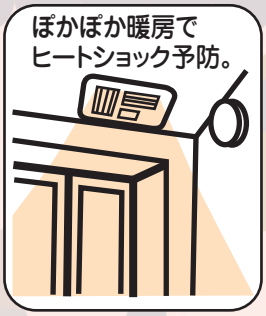
子どもと一緒に入浴を楽しむのであれば1.25坪～1.5坪確保できると良いですね。1坪サイズでも浴槽の形や、様々な工夫で広く使えます。浴槽の形では洗い場側にカーブした形状ですと、2人一緒に余裕で入れます。

- 出っ張りがあまりない水栓金具で洗い場を広く活用。
- 出窓を付けると、空間が広く感じられます。
- 出入り口の段差解消と転倒防止の滑りにくい床。
- またぎやすい浴槽、転んだときにケガしないよう丸い縁の浴槽やカウンターを選ぶと安心です。
- 浴室の扉に「チャイルドロック」機能を備えておくのも安全面では安心できます。
- 小さなお子様は床にお尻をつけて座ることも多いので、洗い場はヒヤッとしない、ソフトな肌触りの床仕様にしておくことも大切です。

お年寄りが使いやすいお風呂とは?

ご家族に高齢の方がいる場合、お風呂で倒れたりケガしたりしないように安全面に十分注意が必要です。スペースに余裕があれば、1.5坪タイプにしましょう。車いすの使用や介助がしやすくなります。

- 出入り口の段差解消と転倒防止の滑りにくい床。
- またぎやすい浴槽。またぎこみの高さは40cm程度にしておくと、むりなく出入りできます。浴槽の縁が広く、腰を掛けられるタイプなら、ラクに出入りできます。
- 浴室で倒れても救助しやすい扉。折れ戸や引き戸タイプで、ドアの面材には割れにくい樹脂ガラスを使用した方がいいでしょう。
- 浴室や脱衣所に暖房を設置することで、部屋間の温度差で血圧が上昇するヒートショックを防げます。
- 万一の時にキッチンやリビングにいる家族に連絡できる緊急ブザーなどがあるとより安心です。



松川町　M様邸【お風呂リフォーム工事】

M様邸では、総合リフォームをさせていただきました。その中でお風呂リフォームの様子を今回は紹介いたします。リフォーム前のバスリームはとても狭く、大人が湯船につかるときは膝を折り曲げないとならない有様でした。今回は浴室を拡張しバスタブも大きくなったので、ゆったりとバスタイムを楽しめます。

「思い切って全面リフォームしてよかったです。床や壁の断熱もしっかりやってくれたので冬も安心できます。」
とお施主様。

⇒

編集後記

今時のユニットバスは機能も増えてきて温かい工夫が色々あります。興味のある方、ショールームにご案内できますので声をかけてくださいね（大石）

住まいのお医者さん
株式会社
エース・リフォーム
0120-098-682
（AM9:00～PM6:00　土日も受け付けています）
ホームページも見てね
http://www.ace-reform.jp/